





各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

令和6年7月のHPきごころ通信 (先月の話題)

目次

- (1)  梅雨が変わっている？ ピークは遅れ 雨量は増加
- (2)  カスハラ被害、2人に1人 企業の4割 未対策
- (3)  SNSトラブル50代最多
- (4)  建材、工事進まず山積み 鉄鋼・合板・アルミ・・・在庫高水準

(1) 梅雨が変わっている？ ピークは遅れ 雨量は増加

- *20世紀前半は、東日本と西日本で雨量のピークは6月下旬。
 - *2001年以降では、7月上旬に変化しています。
 - *梅雨期の降水量の多い西日本の日本海側で特に変化が大きくなっています。
 - *海面水温は、日本近海は20世紀前半と比べて約1度上がりました。
 - *強い雨をもたらす可能性が高くなります。
 - *梅雨末期の大雨に注意が必要。
- (2024年6月4日 日本経済新聞記事より抜粋)



(2) カスハラ被害、2人に1人 企業の4割 未対策

- *流通業やサービス業などの労働組合でつくるUAゼンゼンは、流通系企業の従業員の50%弱が顧客による著しい迷惑行為「カスタマーハラスメント（カスハラ）」の被害に遭ったとする調査結果を発表。
 - *2020年の前回調査から約10ポイント減少。
 - *「直近2年以内で迷惑行為の被害に遭ったことがあるか」という質問に対し、「ある」と答えた従業員は全体の46.8%。
 - *「印象に残っている迷惑行為」という質問に対しては「暴言」(39.8%)が最も多く、次に「威嚇・脅迫」(14.7%)。
 - *「SNS・ネット上の誹謗中傷」は0.8%。
 - *「あなたの企業で実施されている対策」を聞いたところ「特に対策していない」は42.2%。
- (2024年6月6日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

(3) SNSトラブル 50代最多

消費者白書 昨年の相談、投資被害増

- * SNSがきっかけの消費者トラブルを巡り、50代以上からの相談が2023年は約41,000件で前年から1.5倍に増え、全体の半数以上を占めました。
 - * 50代の相談が年代別で最も多く18,515件、全体の23%。2009年以降で最多。
 - * 40代は17%。
 - * 全体の相談件数も前年比3割増の80,404件で過去最多。
 - * 消費者被害額は計約8.8兆円。
 - * 前年を35%上回り過去最高。
- (2024年6月15日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



(4) 建材、工事進まず山積み

鉄鋼・合板・アルミ・・・在庫高水準 人手不足や建築費高 直撃

- * 鉄鋼では在庫増が顕著。
 - * 小形棒鋼の国内在庫は4月末時点、前年同月末から15.0%増えました。
 - * 約11年ぶりの多さ。
 - * H形鋼の5月末の在庫は前年同月末に比べ16.3%増えて、5年ぶりの高水準。
 - * 2023年度の建築床面積はRC造で前年度から8.1%減。鉄骨造も8.7%減。
 - * RC造のマンションの工事原価は5月に前年同月と比べ7.5%上昇。
 - * 鉄骨造のオフィスビルも6.5%高。
 - * 国産針葉樹合板の5月末の在庫は前年同月に比べ12.5%多くなっています。
 - * 木造住宅の工事原価が5.4%上がりました。
 - * 針葉樹合板メーカー各社は、生産能力を全体の8割程度にとどめています。
- (2024年6月28日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)